

平成 24 年 6 月 16 日

IOSCO による CDS 市場に関する報告書の公表

証券監督者国際機構（IOSCO）は、本日、CDS（クレジット・デフォルト・スワップ）市場に関する報告書を公表した。本報告書は、現在進行中の CDS の規制に関する議論について情報提供し、いくつかの重要な政策的論点に焦点を当てることを目的としている。

本報告書は、昨年 11 月の G20 カンヌ・サミットで要請されたものである。カンヌ・サミットでは、IOSCO に対し「CDS 市場の機能と当該市場が原資産の価格形成において果たす役割の評価」を今月 18 日から始まるロスカボス・サミットまでに行うことが求められた。

CDS 市場は急速な変化を遂げており、過去数年の間に、CDS 契約の標準化が進み、電子取引及び中央清算の利用も増加している。CDS に関する大量のデータも公になるようになっており、国際金融市場における CDS の役割の評価についても多数の分析が行われてきている。

本報告書では、カンヌ・サミットで言及された論点に応えるとともに、CDS 市場の直近の変化と現在の傾向を議論している。また、CDS の取引、価格、清算について最近の文献から得られた知見を提供し、以下のような項目を盛り込んでいる。

- ・ CDS 契約の基本的機能と、市場規模
- ・ CDS 市場の特性
 - 契約の標準化
 - 市場構造
 - カウンターパーティー・リスクと担保
 - CDS 価格と債券のスプレッド
 - バーゼルⅢにおける CDS の役割

- ・ 債券市場に CDS が与える影響
 - クレジットスプレッドと債権者のインセンティブに CDS が与える影響
 - 原資産の流通市場に CDS が与える影響
 - 価格形成プロセスにおける CDS の役割

本報告書の結論の一部は以下のようなものである —— CDS 市場が価格形成プロセスに重要な役割を果たしていることが分かったものの、CDS 市場の多くの側面（原資産の発行・流通市場の正常な機能や、債権者のインセンティブに CDS が与える影響等）については、既存の実証研究では、（異なる見解に結びつく）証拠が混在する傾向にある。

（ 以 上 ）